



འབྲུག་རྒྱལ་ཁབ་

ブータン便り

2018年10月22日
第1号

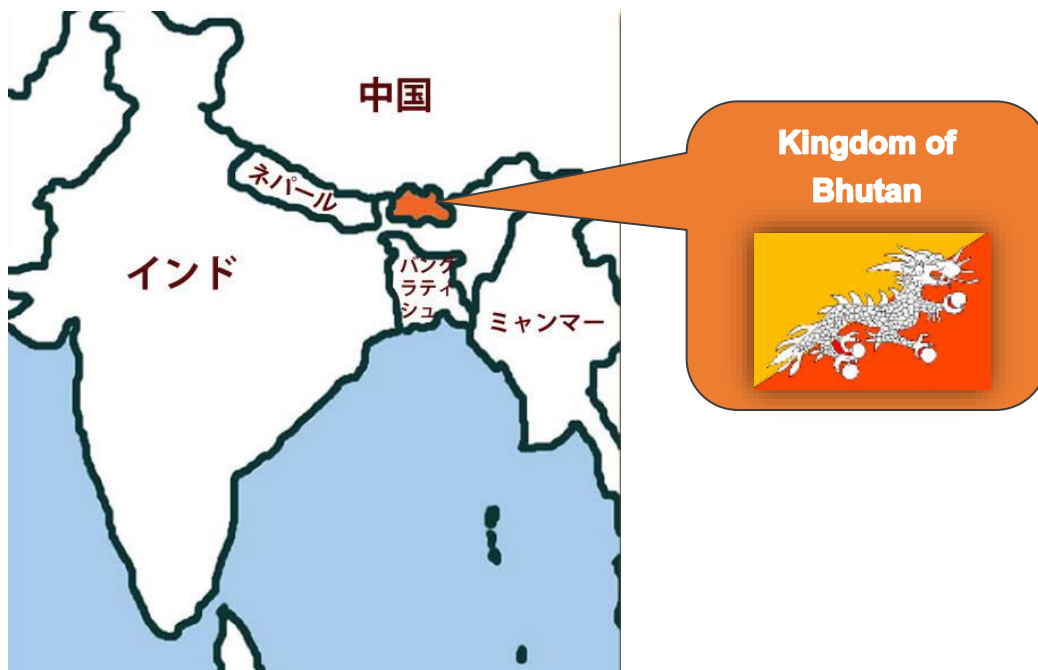
はじめに

クズザンポー（ブータンの言葉で“こんにちは”の意）、白川浩司です。

JICA シニア海外ボランティアとして、2018年10月から2年間、ブータンの首都ティンプーに赴任することになりました。同国の政府観光局にて観光統計の整備を支援する予定です。

赴任中、国際課のホームページをお借りして、「幸せの国」ブータンの生活や文化、ボランティア活動の様子などをお伝えしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ブータン王国



ブータンはヒマラヤ山脈の東端にあり、中国とインドに挟まれた仏教国です。日本の九州ぐらいの面積の国土に、約80万人が暮らしています。

ブータンへは、成田空港からバンコク（タイ）を経由し、ブータン航空で玄関口のパロ空港で入国します。次号からブータン現地情報をレポートしていきますので、お楽しみに。

派遣前訓練

7月5日から8月8日までの35日間、長野県のJICA駒ヶ根訓練所で、2018年度2次隊合同派遣前訓練に参加しました。訓練は、6割が語学（英語）で、他に安全管理、健康管理といった講座を受け、JICAボランティアとしての知識やスキル、心構えを集中的に学びました。

右の写真は修了式後のシニア海外ボランティア（40～69歳）です。24

名（13か国派遣）全員が無事卒業できました。ちなみに、青年海外協力隊（20～39歳）はさらに35日残っており、訓練期間は全部で70日間もあります。

毎朝6:30の朝礼と体力維持（運動）にはじまり、夜までびっしり詰まった課業と課題に追われる生活はともしんどかったですが充実していました。酒類持ち込み厳禁という規則と朝の運動のおかげで、体重も2kg減り、いいダイエットにもなりました。また、老若男女、さまざまなバックグラウンドをもった人たちと合宿生活を送れたことも、貴重な経験でした。世界各地でそれぞれ活動し、2年後に再会することが今から楽しみです。



出発前表敬訪問

出発に先立ち、倉敷市役所と岡山県庁に出発前のあいさつに伺いました。

倉敷市では、生水副市長をはじめ、国際課、観光課を所管する文化産業局、文化観光部の幹部職員に激励していただきました。また、出発の記念に倉敷帆布でできたトートバッグを頂戴しました。“2年間どんなハードな環境でも耐えられる”のが理由だそうです。

写真中、防災服で勤務されている方もいるように、平成30年7月豪雨の災害対応業務でお忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。



写真前列、一番左が私です